

クイックスタートガイド

本製品は以下の手順を踏むことですぐにお使いいただけます。詳しい測定方法や設定方法に関しましては、あらかじめ本書をよくお読みいただく必要がございます。

《クイックスタート手順》

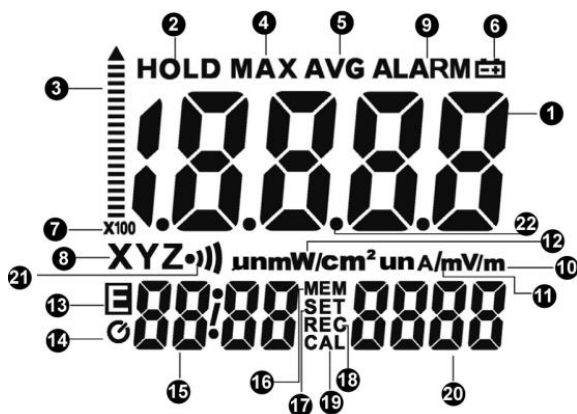
1. 9V型乾電池を本体に挿入します。
2. 電源ボタンを押し、電源を入れます。
3. XYZ/MEM ボタンを押し、センサーを選択します。(X、Y、Z、ALL)
画面上に選択されたセンサーが表示されます。
4. UNIT/ENTER ボタンを押し、測定単位を選択します。

各部の名称



《本体》

1. 高周波3軸センサー
2. LCD画面
3. MAX (最大) / AVE (平均) / ▶ (右) ボタン
4. REC (記録) / TIME (時間) / ◀ (左) ボタン
5. 電源ボタン
6. UNIT (単位) / ENTER (エンター) ボタン
7. HOLD (データ保持) / ALARM (アラーム) / ▲ (上) ボタン
8. バックライト / SET (設定) ボタン
9. XYZ/MEM (メモリー) / ▼ ボタン
10. ホルスター
11. 三脚固定用ネジ
12. バッテリーカバー



《LCD画面》

- | | |
|---|---|
| 1. メイン画面 | 12. $\mu\text{W}/\text{m}^2$ 、 $\mu\text{W}/\text{cm}^2$ (電力) |
| 2. データ保持 | 13. Eアイコン |
| 3. バーグラフ | 14. オートパワーオフ設定 |
| 4. MAX (最大値) | 15. 時刻 |
| 5. AVE (平均値) | 16. MEM (メモリー読取) |
| 6. 電池残量表示 | 17. SET (設定) |
| 7. $\times 1$ 、 $\times 10$ 、 $\times 100$ 係数 | 18. REC (記録) |
| 8. XYZ軸表示 | 19. CAL (補正) |
| 9. アラーム | 20. サブ画面 |
| 10. mV/m、V/m (電界) | 21. ブザー |
| 11. $\mu\text{A}/\text{m}$ 、mA/m (磁界) | 22. 小数点 |

単位について

本製品は電界の構成要素を測定します。初期設定は電界の単位 (mV/m、V/m) です。本製品は電界の測定値を元に磁界の単位 ($\mu\text{A}/\text{m}$ 、mA/m)、電力密度の単位 ($\mu\text{W}/\text{m}^2$ 、mW/m²、 $\mu\text{W}/\text{cm}^2$) を割り出します。これは標準的な電磁気放射の遠方界の公式を用いています。

バーグラフ、メイン画面の値について

LCD画面のバーグラフは常にダイナミックレンジの**瞬間値**を表示しています。

メイン画面には選択された以下の3つの結果のうちのひとつが表示されます。

- ・ **瞬間値**：LCD画面にセンサで測定された最新の値が表示されます。アイコンは表示されません。デフォルト設定のため、本体の電源を入れた時は瞬間値になります。
- ・ **最大値**：LCD画面にセンサで測定された最大の値が表示されます。最大値を選択すると**MAX**のアイコンがLCD画面上に表示されます。
- ・ **平均値**：LCD画面にセンサで測定された平均の値が表示されます。平均値を選択すると**AVE**のアイコンがLCD画面上に表示されます。

基本的な使い方

初めて使用する際は、バッテリーカバーを外し9V型乾電池を挿入します。また、LCD画面上に電池残量表示が点灯した際も同様に使用前に電池交換を行います。

1. 電源のオン/オフ

電源ボタンを押す毎に電源のオンとオフが切り替わります。

2. データ保持モード

HOLD/ALARMボタンを押すとデータが保持されます。LCD画面上に**HOLD**アイコンが表示されます。もう一度HOLD/ALARM ボタンを押すとデータの保持が解除されます。

3. 測定単位の切り替え

UNIT/ENTERボタンを押す毎に、以下の順で測定単位が切り替わります。

- ・ 電界 (mV/m、V/m)
- ・ (割り出された) 磁界 ($\mu\text{A}/\text{m}$ 、mA/m)
- ・ (割り出された) 電力密度1 ($\mu\text{W}/\text{m}^2$ 、mW/m²)
- ・ (割り出された) 電力密度2 ($\mu\text{W}/\text{cm}^2$)

※電界、磁界、電力密度1のそれぞれの単位は自動で切り替わります。

4. 最大値、平均値の記録

MAX/AVEボタンを押す毎にLCD画面上のアイコンが**MAX** (最大値)、**AVE** (平均値)、**MAX/AVE** (最大平均値) の順に切り替わります。MAX/AVE ボタンを3秒以上長押しするとこの機能が解除されます。

最大記録容量は**99分99秒**です。この時間を経過すると自動的に記録が終了し、LCD画面に**E**アイコンが表示されます。

5. マニュアルデータ記録

REC/TIMEボタンを押すと、その瞬間の測定値が記録されます。また、**REC**アイコンが点灯しサブ画面に001から200の数字が表示にされます。数字は記録されたデータの数を表し、最大で**200個**のデータ保存が可能です。データ数が200個を超えるとサブ画面上に**OL**と表示されます。

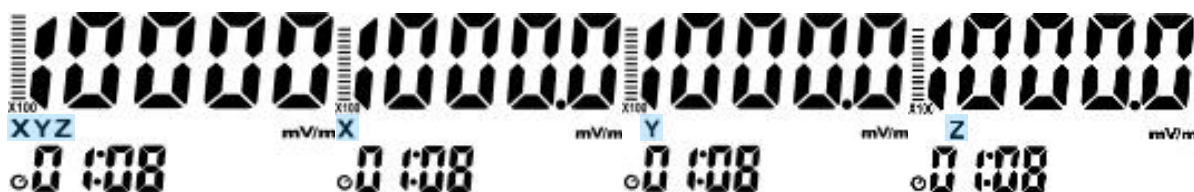


6. バックライト

バックライト/SETボタンを押す毎にバックライトのオンとオフが切り替わります。バックライトは30秒で自動的にオフになります。

7. XYZ軸の切り替え

XYZ/MEMボタンを押す毎にセンサーの測定軸がXYZ（全軸）、X軸、Y軸、Z軸の順に切り替わります。



8. アラーム

電源ボタンを押しながらHOLD/ALARMボタンを押すとアラーム機能がオンになります。同じ動作でオフに切り替わります。アラーム機能がオンの時は、LCD画面上にALARMアイコンが点灯します。また、アラームがなるとLCD画面上にブザーアイコンが表示されます。

9. 記録データの表示

電源ボタンを押しながらXYZ/MEMボタンを押すと記録したデータを表示します。▲ボタンと▼ボタンを押すと前後の記録を表示します。UNIT/ENTERボタンで記録データ表示を終了します。

10. 時間の表示切り替え

電源ボタンを押しながら REC/TIMEボタンを押すとLCD画面上の時刻欄が年（西暦）、月・日、時・分、秒に切り替わります。時刻は24時間制で、初期設定は2010/01/07、00:02、:00です。

2009 → 12/31 → 00:20 → :15

各機能の設定方法

電源ボタンを押しながらバックライト/SETボタンを押すとセットアップモードになります。さらにバックライト/SETボタンを押す毎に各機能が切り替わり、設定したい機能を選択します。設定変更後、UNIT/ENTERボタンを押して設定内容を保存します。

各機能は以下の通りです。

- ・時刻
- ・アラーム限界値
- ・記録データのクリア
- ・バーグラフの感度
- ・オートパワーオフの時間
- ・補正ファクター

1. 時刻の設定

セットアップモードになるとまず時刻の設定画面になります。◀▶ボタンを押して変更する項目を選択します。（時→日→月→年→分） ▲▼ボタンを押して、選択した項目の内容を変更します。UNIT/ENTERボタンを押して設定を変更します。

※時刻は24時間制です。初期設定は2009/12/21 12:12です。

年のフォーマットは2000～2099年で00～99と表示されます。

1221
09:38^{SET} 2009

2. アラーム限界値の設定

アラームが鳴る数値を設定できます。アラーム限界値は電界の単位 (V/m) でのみ調整できます。設定範囲は0.001~999.9V/mです。初期設定は999.9V/mです。アラーム限界値は全3軸の値の総合値に対する値です。

セットアップモードからバックライト/SETボタンを1回押してアラーム限界値の設定を選択します。選択中の桁が点滅し、単位V/mが表示されます。

▶ ボタンを押す毎に小数点が移動します。



◀ ボタンを押す毎に選択中の桁が移動します。



▲▼ボタンで選択した桁の数値を調整します。UNIT/ENTERボタンを押して設定を変更します。

3. 記録データのリセット

セットアップモードからバックライト/SETボタンを2回押して記録データのリセットモードを選択します。記録データのリセットモードになるとnoが表示されます。



リセットを行わない場合は、そのままUNIT/ENTERボタンを押します。リセットを行う場合は、▲▼ボタンを押して画面にyesを表示させます。UNIT/ENTERボタンを押すとリセットを行います。



4. バーグラフの感度設定

セットアップモードからバックライト/SETボタンを3回押してバーグラフの感度設定画面を選択します。バーグラフが点滅し、現在の感度の倍率がグラフの下に表示されます。通常は1倍 (x1) です。▲▼ボタンを押して感度10倍 (x10)、100倍 (x100) を選択しUNIT/ENTERボタンを押して決定します。



5. オートパワーオフの時間設定

セットアップモードからバックライト/SETボタンを4回押してオートパワーオフの時間設定画面を選択します。LCD画面上にオートパワーオフ設定アイコンが表示されます。▲▼ボタンを押して、時間を調整します。(初期設定: 15分、最大99分、00分はオートパワーオフ無効) UNIT/ENTERボタンを押して決定します。



6. 補正ファクターの設定

セットアップモードからバックライト/SETボタンを5回押して補正ファクターの設定画面を選択します。LCD画面上にCALアイコンが表示されます。設定可能範囲は**0.10～9.99**です。（初期設定：0.10）

◀▶ボタンを押して設定する桁を変更します。▲▼ボタンを押して選択した桁の数値を調整します。UNIT/ENTERボタンを押して決定します。

測定方法について

正確な測定を行うためには、測定中は**安定した状態で本体を保持**してください。センサーが急速に動かされると、静電荷が生じ測定値が過度に表示される場合があります。

短期測定

本体を腕の長さに保ちます。短期測定は瞬間値または最大値で測定します。短期測定は、測定エリアの特性や方向が不明な時に行い、作業場や対象となる被測定エリア周辺を数箇所測定をしてください。

長期測定

本体を自身と放射源として疑われる物のおきます。瞬間値が大きく変動するときは平均値または最大平均値で測定してください。